



けやき

R4. 1. 28 文責:吉本

春を告げる「蠟梅」



校庭の蠟梅

校庭の蠟梅が初春を告げています。

令和四年そして三学期がスタートして、早一ヶ月が経ちました。ここまであつという間だった印象があります。一月十四日の私立高校の入学を皮切りに一月二十四日には公立前期試験が行われました。今、受験まっただ中という感じですが、三年生は日々必死になって勉強に励んでいます。校庭の蠟梅が知らせてくれているように春はもうすぐそこまで来ています。自分自身の頑張りを感じながら、最後の最後まで努力を継続してほしいと思います。合格を勝ち取った人たちも同じく、自分自身のため(進学先でいいスタートが切れるため)にも、仲間のためにも努力を継続してほしいと思います。ちなみに、蠟梅の花言葉は「先導」「先見」だそうです。

県下で新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。本校でもマニュアルに則った取組を強化しているところです。保護者の皆様には、日頃からご理解いただき、ご協力いただいていることに感謝申し上げます。今後とも家庭・学校の両輪で、感染予防を徹底しながら一人一人の学習保障を行っていきたくと考えていますので、よろしくお願い致します。

【学校教育目標】 夢実現に向け
友情と信頼で結ばれ 粘り強く 考動できる 生徒の育成

本の世界へ「ビブリオバトル」

一月二十七日、図書委員会が企画した「ビブリオバトル決勝戦」がリモート(ズーム)で行われました。一・二年の各クラス代表四名(一の一:高藤あゆみさん、一の一:白木星空さん、二の一:木ノ下晴太さん、二の二:立川麗奈さん)による本の紹介は、各クラスを勝ち抜いてきただけあって、本の世界へ引き込まれる素晴らしい内容・表現でした。聞いた多くの生徒からは、読んでみたいという声があがっていました。クラスからはズームで「誰に読んでほしいか?」という質問もありましたが、四人とも、なるほどと思わせる回答ぶりでした。その後、タブレットのロイノートを使って即時の投票となりました。結果は、優勝(立川さん)、準優勝(白木さん)、敢闘賞(木ノ下さん・高藤さん)でした。

読書によって得られる効果はたくさんあります。例えば、知識や創造力が高まる、共感力やコミュニケーション力が高まる、人生を指南してくれる、心の栄養を与えてくれる、心を豊かにしてくれるなど…。今回の企画をきっかけに、皆さんもぜひ本を手にとってみましょう。



コロナ禍・・・「授業の工夫」

感染リスクを低くするため、各教科では様々な工夫をしながら授業を行っています。例えば、体育では接触する運動や球技等ができないので、「エアロバイク」に取り組みしていました。コロナ禍で運動不足になっている生徒にとっても、楽しく身体を動かす機会となったようです。特に、受験勉強に励んでいる三年生にとっては、運動不足解消はもちろん、ストレス解消や脳の活性化にも繋がっています。生徒の感想も「きついが楽しかった」「気分が晴れやかなった」「筋肉痛が残っていいです(笑)」など大好評のようです。



「いじめ」防止の取組

「いじめ」防止の取組として、心のアンケートや相談活動、生徒が主体となった「心のきずな」を深める生徒サミットなど未然防止や早期発見のための様々な取組を行っています。今年度から「いじめ情報集約担当者(上河教諭)」を位置づけさらなる強化に努めています。何かお気づきやご相談等ありましたら、上河教諭や近くの教職員へ気軽に相談ください。本校の「いじめ防止対策基本方針」は本校ホームページに掲載していますので、ご覧ください。